

暑中お見舞申上げます

今年の夏も猛烈な暑さで既に少しバテ気味です。昨年夏にお知らせしたように劇場・ホールの「かかりつけ医」的工作は継続して行っています。まず基礎調査（診断）から始まり、症状の分析をした上でどのような更新や改修が好ましいか提案するといった作業は決して安易に行うことはできず、いつもそれぞれの状況に応じて十分に検討を重ねて報告書に整理します。あとは提案が速やかに実行されることを祈ることになります。どのように進められるか確認することにも力を注ぎたいと思います。

暑い夏を皆様もお元気で過ごしてください。

A.T.Network 代表 近江 哲朗

森のホール21は今秋満25年を迎えます

平成5年秋に開館した森のホール21（松戸市文化会館）はこの秋に満25年となります。それは私が設計から離れて25年が経つということにも繋がります。

運営機関である松戸市文化振興財団の好意もあり、継続して大小2つのホールの経年状況を観察し必要とされる更新・改修の提案をさせて戴いています。

昨年の8月には小ホールの照明機材の一部LED化も行い、今年度は大ホールの音響反射板に付くダウンライトのLED化や音響反射板の動力部の更新などを行い、更に舞台連絡設備であるITVシステムも全面的更新を予定しています。

やはり25年の運用を経ると更新すべき事項も数多く、それらの優先度を考えてコツコツと実施することは大切な維持作業となります。他の事例では更新・改修を一度にまとめて実施しているケースが比較的多く見られますが、森のホール21では長期間の閉鎖を伴わないことの重要性を考慮してコツコツ方式で毎年更新・改修を行っています。

我々は舞台設備を中心にこういった更新・改修に関わっていますが、建築本体や一般設備にも25年の経年劣化はいくつか見られ、常に舞台設備だけを考えていればよい状況ではなくなってきつつあります。

こうして長期にわたってサポートできることに感謝しています。



設計：A&T建築研究所 写真：A. T. Network

盛岡市ではまず調査から

昨年度に続いて盛岡市から委託を受けて、2か年で市内の4施設7ホールの調査～更新提案を実施しています。昨年度、既に2施設4ホールの業務は完了しており、今年度は残った2施設3ホールの作業が進行中です。

今年度の対象に「盛岡市民文化ホール」の大小ホールがあり、大ホールは1500人を収容する大型ホールで、小ホールはパイプオルガンを持つコンサートホールといった構成です。施設は平成10年開館で、今年度は開館20周年を迎えます。

建設の際にも支援をしていたため、記憶も多く残る中で20年を経過した施設の調査ができることに改めて嬉しく感じながら、今後詳細調査を踏まえて提案の作成などを進めて参ります。



設計：関・空間設計

写真：A. T. Network

編集後記 (近江)

今年は9月に行われるJATEETフォーラムで発表をすることになってしまいました。会場は札幌で音響反射板を中心に格納方式を分類して最近の傾向を探るといった内容です。その準備と猛暑対策の日々です（近江）

夏季休暇のご案内

この夏は13日（月）～17日（金）を夏季休暇とさせていただきます、また個人的に時期をずらして変則的の休暇も考えておりますので悪しからずどうぞご了承ください。尚、メールによる連絡は常に受信できるようにしております。